

令和 8 年度

浅科人权文化センター運営委員会

資料

隣保館の歴史

昭和28年度の国家予算に、初めて同和地区に隣保館を建設する経費の補助金が計上され、その後、同和対策事業特別措置法制定を契機として全国に隣保館の整備が図られた。平成9年特別措置法が失効したことにより、同和対策施設から社会福祉施設へと変わり現在に至る。

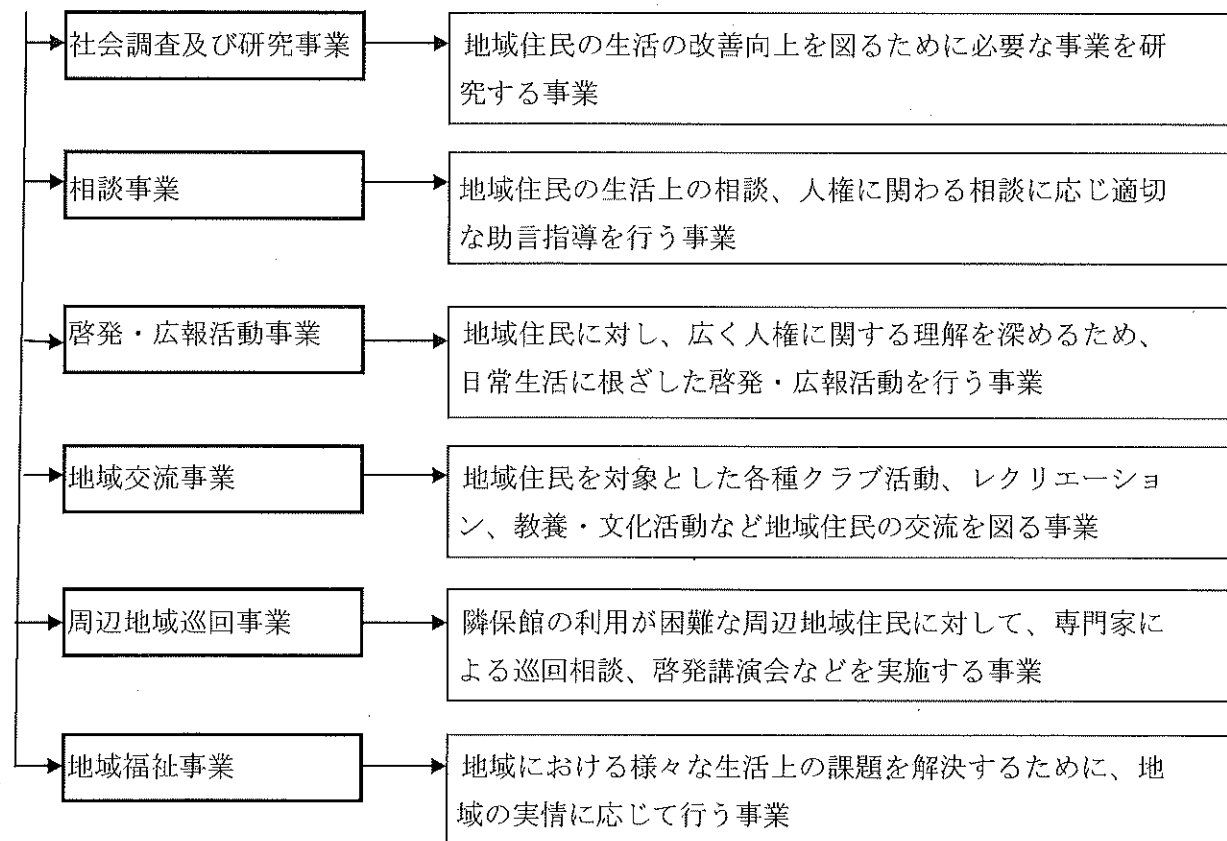
隣保館の目的

隣保館は、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものとする。

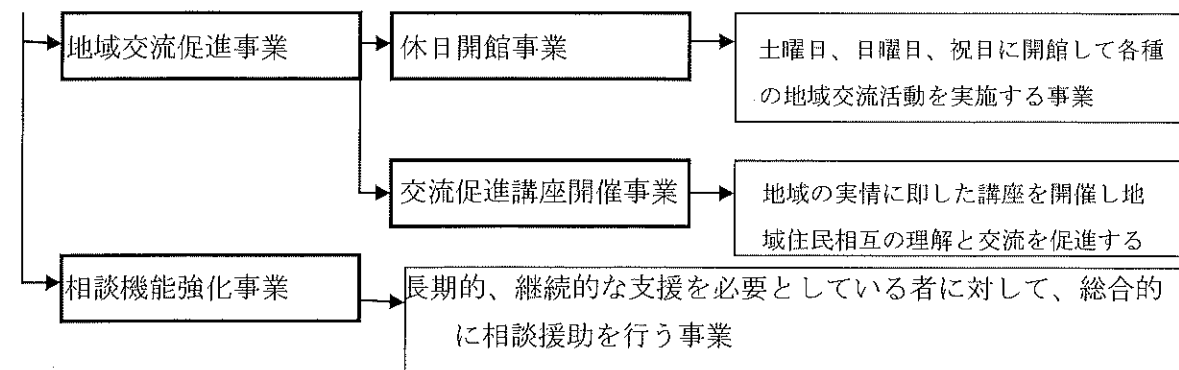
隣保館事業の体系

H14.8.29 厚生労働事務次官通知隣保館設置運営要綱より

基本事業



特別事業



(1) 令和7年度 浅科人権文化センター事業報告

事業名	事業内容	実施日	開催回数	参加人数及び件数	事業の方向性・検討課題
基本事業					
社会調査及び研究事業	① 人権同和教育・人権啓発に係る講演会や研修に出席				今後も積極的に研修会等に参加し、知識の習得に努める。
	長野県隣保館連絡協議会総会	4/15	1	3	
	第115回長野県隣保館関係職員研修会	4/15	1	3	
	第62回全国隣保館職員東日本ブロック会研修会	10/23 ～ 10/24	1	3	
	第117回長野県隣保館関係職員研修会	2/5	1	3	
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時			
相談事業	① 個別訪問による相談活動 相談員により地区の独居老人世帯を重点に訪問し、長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行った。	随時	12		相談をととして地域の課題や住民ニーズ等発見し対応するとともに、予防していく。 相談ごとの回答やアドバイスを提供するにとどまらず「悩み事」をかかえた相談者に対する心のケアの場とする。
	② 相談者との来館及び電話での生活相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行った。				
	③ 教育相談 英語教室等の保護者や生徒への助言を行った。				
	④ 健康相談 長生き会や音楽教室開催に合わせて保健師による健康相談を実施した。		27		
啓発・広報活動事業	①「浅科人権文化センターだより」の発行 (支部員、浅科人権文化センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員)	7月 12月 3月	3	各52部	今後も機会あるごとに、情報提供、発信を行なう。
	② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し	通年			
	③ 人権パネルの展示	通年			
	④「隣保館だより」の発行(広報佐久3月号別冊) 市内全戸と関係機関へ配布し、隣保館で実施された事業、次年度実施される予定の教室などを周知した。	3月	1	市内全戸	
	⑤解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	通年			
	⑥人権啓発講座「考えようインターネットと人権」	12/10 1/22	2	13	
地域交流事業	① 地域交流会(料理教室・音楽教室)	6月 ～ 12月	12	62	地区内関係者が減少しており、声掛けなどによる加入促進に努める。
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等を巡回訪問し、相談を行い状況を把握し、指導を行った。	通年			高齢者等が気兼ねせずに相談できる関係を構築していく。
地域福祉事業	長生き会 (料理教室・健康相談)	6月 ～ 12月	8	26	浅科支部の女性会員に協力をお願いして、開催をしている。

事業名	事業内容	実施日	開催回数	参加人数及び件数	事業の方向性・検討課題
特別事業					
地域交流促進事業	《 休日開館事業 》				近年、休日の人権相談者が無いため周知の方法を考える。
	① 休日人権相談	4月 ～ 3月	12	0	
	② 絵手紙教室	毎月第1土曜日	7	61	
	③ 成人書道教室（祝日：中学生以上対象）	5月 ～ 2月	9	54	
	④ 中学英語教室	4月 ～ 3月	9	20	
	《 交流促進講座開催事業 》				地域の実態に即して、教室開催を決めていく。
	① 児童書道教室（小学生対象）	毎週水曜日	38	157	
	② 成人書道教室（中学生以上対象：休日開催除く）	毎週月曜日	30	186	
	③ 絵手紙教室	毎月第3月曜日（12回） 4月、12月～3月 第4木曜日（6回）	17	124	
	④ 中学英語教室（1年） （浅科中学校1年生対象：休日開催除く）	毎週木曜日	44	281	
相談機能強化事業	⑤ 中学英語教室（3年） （浅科中学校3年生対象：休日開催除く）	毎週金曜日	36	157	地域の課題・生活支援について、各関係機関と情報交換や連携を通じ対応していく。
	① 支援方策検討会 長期的・継続的な相談援助を必要とする事項について自立支援の方策を検討するため支援方策検討会を実施した。	6/25	1	4	

隣保館活動状況（前年度対比）

【浅科人権文化センター】

1 相談事業実施状況

相 談 事 項	令和7年度相談件数	令和6年度相談件数
生活相談（生活・人権等相談）	12	3
健康相談（健康診断）	27	32
教育相談	0	4
職業相談（就職・失業保険）	0	0
事業相談	0	0
計	39	39

2 事業実施状況

事 業 名	令和7年度		令和6年度	
	開催回数	参加人員	開催回数	参加人員
啓発・広報活動事業	2	13	1	14
地域交流事業	29	186	24	148
地域福祉事業	8	26	9	38
休日開館事業	25	135	25	183
交流促進講座開催事業 （休日開館は除く）	148	781	153	736
計	212	1,141	212	1,119
人権センター通信等の発行	3	地区支部員配布 他（52部／回）	3	地区支部員配布 他（52部／回）

(2) 令和8年度 浅科人権文化センター事業計画(案)

事業名	事業内容	実施日	開催回数
基本事業			
社会調査及び研究事業	① 研修会、講演会等への出席 全国隣保館職員東日本ブロック会研修会 長野県隣保館関係職員研修会他	随時	
	② 訪問等による地区世帯状況等の把握	随時	
相談事業	① 個別訪問による相談活動 相談員により地区の独居老人世帯を重点に訪問し、長生き会への参加の呼びかけや、相談・言葉かけを行っていく。	随時	
	② 来館者や電話での相談 内容に応じ関係機関と連携して助言指導を行っていく。	随時	
	③ 教育相談 英語教室の保護者や生徒に助言を行っていく。	随時	
	④ 健康相談 長生き会や音楽教室の折に保健師・看護師による健康相談を実施する。	事業実施時	
啓発・広報活動事業	① 「浅科人権文化センターだより」の発行 (支部員、浅科人権文化センター運営委員、部落差別撤廃人権擁護審議会委員、各教室参加者へ配布)	7月 11月 3月	3
	② 人権教育啓発関係ビデオの貸し出し	随時	
	③ 人権パネルの展示	通年	
	④ 「隣保館だより」の発行(広報3月号別冊)	3月	1
	⑤ 解放新聞、ハローワーク求人情報、情報誌等の提供	通年	
	⑥ 人権啓発講演会		1
地域交流事業	① 地域交流会(料理教室・音楽教室)	5月 ～ 11月	12
周辺地域巡回事業	訪問指導により高齢者や障がい者、一人世帯等の家庭を巡回訪問し、健康や介護等の相談に応じて状況を把握し、指導を行う。	通年	
地域福祉事業	① 長生き会 (料理教室・健康相談)	6月 ～ 12月	9

事業名	事業内容	実施日	開催回数
特別事業			
地域交流促進事業	《 休日開館事業 》		
	① 休日人権相談	毎月第3土曜日	12
	② 絵手紙教室	4月～11月第1土曜日	8
	③ 成人書道教室（祝日：中学生以上対象）	年間	11
	④ 中学英語教室（休日：1年～3年）	年間	6
	《 交流促進講座開催事業 》		
	① 児童書道教室（小学生対象）	5月～2月（月3回）水曜日	30
	② 成人書道教室（中学生以上対象：休日開催除く）	5月～2月（月2～3回）月曜日	23
	③ 絵手紙教室	5月～2月第3月曜日10回 12月～2月第4木曜日（3回）	13
	④ 中学英語教室（1・2年） （浅科・望月中学校1・2年生対象：休日開催除く）	5月～2月（月3回）水曜日	30
相談機能強化事業	⑤ 中学英語教室（3年） （浅科・望月中学校3年生対象：休日開催除く）	5月～2月（月3回）木曜日	30
	① 支援方策検討会 長期的・継続的な相談援助を必要とする事項について自立支援の方策を検討するため支援方策検討会を実施する。	必要に応じて	